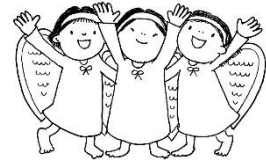


## 育自の広場、クリスマス 2020 を迎えて

交野教会の牧師・ひかりの子学園宗教主事の<sup>たかひつばさ</sup>高陽鐘翼です。今年は例年とは違い、育自の広場も開催できず、なにかとご不便をおかけしております。今日は皆様にぜひ伝えたいことがあって手紙を書かせていただきました。

今年は入園・進級の当初からコロナ渦中のため、ほとんどの行事やイベントが縮小、自粛、見直し、延期という一年を余儀なくされました。保護者の皆様もお子さんたちにとっても「いつも通りでなかったなあ」と、なにかと寂しい思いをされるが多かったのではないのでしょうか。



しかし教会礼拝堂から見ていると、園の先生方は毎日本当に最善を尽くされました。また、保護者の皆様におかれましては緊張や不安の只中にもかかわらず、いつもと変わらぬご理解とご協力をくださいました。私からも心から感謝を申し上げます。

誰も経験したことない感染対策に、どこからも正解が示されない中、時には精一杯の主張が通らず空回りすることもあり、お互いに良かれと思うがあまりの正論すぎる言葉が鋭くぶつかって、気持ちが傷ついたこともあったでしょう。そしていつも通りの当たり前のことが制限され、相当にしんどい思いをされたかと存じます。

この辛さは、自分の周囲だけではなく、倉治、交野、大阪、日本、アジア、世界のすべての人が同時に味わっています。特に医療関係従事者の方々は、数字には表れない想像を絶する戦いと不安の中におられます。また病を得て生命の危機と向き合う人たちや、



家族や親しい人たちを失った悲しみの中にいる人たちが大勢おられます。一日も早く感染流行が終息するように、また罹患された方々が癒され回復しますよう祈るとともに、できることは精一杯協力したいと思います。

さて、今年の幼稚園のクリスマス会は無観客で行われるということで、当初は大変驚かれ、不安に思われたかと存じます。クリスマス会当日は、この夏装いを新たにしたホールに ZOOM 中継用のカメラと、記録用のカメラがまるで放送局のようにたくさん準備されました。子供たちのクリスマス・ページェントや劇遊び、また合奏合唱が行われたホールは、テレビ番組の「お母さんと一緒」の生中継スタジオのようでした。皆さんがご覧になった画面の向こうで先生方が忙しく動き回っておられた様子も同じように中継したらきっと面白いのにとしつつ、本当に素晴らしい雰囲気包まれたクリスマス礼拝であり祝会でした。



三日間を通して、この紙面では伝えきれない様々なことがありましたが、子どもたちの姿から私が強く感じたのは、子どもたち一人一人もこの一年間、我々大人と同じくらいにコロナの不安やその不自由さを経験し、精一杯この現実を受け入れているのだということです。子どもたちは様々な自粛や縮小を「仕方がない」「もう慣れた」と後ろ向きにあきらめたりしませんでした。「いつもと違うけど、カメラの向こうでみんなが見ている。皆とつながっているから、ちょっと違うけど面白い。全然同じ。大丈夫だ。ホールの椅子には皆の応援グッズがいっぱいおいてある。」と、子どもなりに現実を前向きにとらえているようでした。自粛や縮小の意味を理解して、へこたれずに、希望をもって命いっぱい力強く歩んでいることが伝わってきました。そんな子どもらしい元気な仕草やお互いに掛け合う言葉には心動かされるものがありました。



**「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」**

**この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。**

**マタイによる福音書1章23節**

幼稚園は創立当初から基本理念としてキリスト教を大切にしております。キリスト教のクリスマスは、約2000年前に神さまの子イエスさまがこの世界に誕生した出来事を祝うものです。この世界が大変素晴らしくて完璧な世界だからイエスさまがお生まれになったのではありません。当時も今と変わらない政治不安、命の危険、過酷な労働、民族間の対立や差別、貧困など様々な問題に満ちていました。しかしそれでも神さまの子が誕生しました。これは神さまが世界と人間を力強く肯定された、つまり深く愛しておられる証拠なのです。

クリスマスのお話は問題だらけの世界に対する神さまのダメ出しではなく、それでも神さまが共にいてくださるといふ力強い肯定であふれています。今年のクリスマスに子どもたちが私たちに見せてくれた「この厳しい現実を力いっばいに肯定し喜び楽しんで生きる姿」はまさしくクリスマスの意味そのものの体現でした。

今の世界を精一杯肯定し命いっばいに生きている子どもたちと共に、どうかそれぞれのご家庭が、例年とは違うけれども、今までにない新しい、心温かいクリスマスと冬休みを過ごされますように。そして神さまのお守りと平安が豊かにありますようにお祈りしています。

AD2020.12.24

